

## 24 内宿緑地環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 香取神社周辺一帯（北浦村）
- (2) 指 定 昭和58年3月31日（茨城県告示第589号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 指定理由

本地域は、スギ、ヒノキ、スダジイの混生する森林である。

林内には、関東地方を北限とし、希少価値を有する常緑性のマンリョウ、カラタチバナが生育している。

また、動物相では、県南地方で個体数の少ない蝶、アサマイチモンジも生息する等、貴重な動植物が見られるので、これらの自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

#### (2) 自然環境の概要

##### ア 植 生

上層木は、スギ、ヒノキ、スダジイのほかに、アカガシ、タブノキ、ホオノキ、シラカシが混生している。

林内には、シラカシ、スダジイ、ヒサカキ、ヤブツバキ、ケヤキ、ナンテン、サンショウが見

られ、その下にベニシダ、フタリシズカ、テイカカズラ、ヤマジノホトトギス、ヤブコウジ、ヤマトリカブト、マンリョウ、カラタチバナが豊富に生育している。

このうち、マンリョウは福島県いわき市を、カラタチバナは高萩市、常陸太田市瑞龍をそれぞれ北限地とし、かつ、生育地における個体数は通常少ない。

#### イ 野生動物

常緑樹及び周辺に、ダイミョウセセリ、キマダラセセリ等のセセリチョウ類、アオスジアゲハ、モンキアゲハ等のアゲハチョウ類、アサマイチモンジ、コミスジ、ルリタテハ等のタテハチョウ類が数多く生息している。

特に、アサマイチモンジは、スイカズラを主な食草とし、県北地方を中心に分布し、県南地方では希少性を有する種である。

またキイトトンボ、アジアイトトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ等のトンボ類や他の昆虫類も多種見られる。

さらに、キジバト、ヒヨドリ、モズ、メジロ、ホオジロ、ムクドリ等、人家近くに見られる鳥も多数確認されている。

### (3) 区域

#### ア 区域の概要

本地域は、北浦から玉造へ向かう県道から北側へ入った香取神社を中心とするまとまった森林地域で、周囲に空堀が掘られている。

#### イ 位置及び区域

行方郡北浦村大字内宿の一部

別図のとおり

#### ウ 面積 2.03ヘクタール

#### エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	2.03	2.03

(面積は、台帳面積による。)

### (4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、香取神社を中心として、スギ、ヒノキ、スダジイの混生する森林の下に、福島県いわき市を北限とするマンリョウ、高萩市を北限とするカラタチバナが生育しており、これらは希少性を有している。

また、県南地方で個体数の少ない蝶、アサマイチモンジ、南方系のアオスジアゲハ、モンキアゲハ等が生息するほか、昆虫類、鳥類が数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

### (5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

# 内宿緑地環境保全地域位置図

縮尺  $S = \frac{1}{50000}$



# 内宿緑地環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$

